

III 集計結果

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの相談期間中に、福島県において、合計992件の相談等を受理した。

1 受理概要

(1) 相談等の受理総数

ア 受理件数内訳

受理件数992件のうち、相談件数は941件(94.9%)、相談以外(無言等)の件数は51件(5.1%)であった。

表1-1 受理件数内訳

受理件数	件数	%
相談	941	94.9
相談以外	51	5.1
合計	992	100.0

イ 受理分類

相談件数941件のうち、「電話相談」は921件(97.9%)、「面接相談」は20件(2.1%)であった。

電話相談に付随する「相談以外」の件数51件のうち、「無言」が33件(64.7%)、「要望・苦情」が1件(2.0%)であった。

表1-2 受理分類

受理分類	件数	%
電話相談	921	97.9
面接相談	20	2.1
小計(相談)	941	100.0
要望・苦情	1	2.0
いたづら	-	-
無言	33	64.7
その他	17	33.3
小計(相談以外)	51	100.0
合計	992	-

ウ 曜日別電話件数

曜日別の総呼数については、水曜日が最も多く、次いで金曜日、火曜日の順に多かった。

電話件数については、火曜日と水曜日が最も多く、次いで金曜日、木曜日の順に多かった。

表 1 - 3 曜日別総呼数

曜日	件数	%
月	615	16.3
火	701	18.6
水	821	21.8
木	692	18.4
金	797	21.2
土	76	2.0
日	60	1.6
合計	3,762	100.0

表 1 - 4 曜日別電話件数

曜日	件数	%
月	179	17.6
火	215	21.2
水	215	21.2
木	197	19.4
金	210	20.7
土		
日		
合計	1,016	100.0

ウ 月別電話件数

月別の総呼数については、10月が最も多く、次いで4月、5月の順に多かった。

月別の電話件数については、12月が最も多く、次いで5月と9月の順に多かった。

表 1 - 5 月別総呼数

月	件数	%
4月	448	11.9
5月	407	10.8
6月	311	8.3
7月	251	6.7
8月	253	6.7
9月	330	8.8
10月	606	16.1
11月	221	5.9
12月	267	7.1
1月	233	6.2
2月	197	5.2
3月	238	6.3
合計	3,762	100.0

表 1 - 6 月別電話件数

月	件数	%
4月	87	8.6
5月	92	9.1
6月	87	8.6
7月	90	8.9
8月	79	7.8
9月	92	9.1
10月	61	6.0
11月	87	8.6
12月	101	9.9
1月	82	8.1
2月	68	6.7
3月	90	8.9
合計	1,016	100.0

(2) 相談の概要

ア 性別内訳

受理した相談等の性別の内訳は、「女性」が966件(97.4%)、「男性」が1件(0.1%)であった。

表1-7 性別内訳件数

性別	件数	%
女性	966	97.4
男性	1	0.1
不明	25	2.5
合計	992	100.0

イ 性別受理分類

女性966件の受理分類は、「相談」が940件(97.3%)、「相談以外」が26件(2.7%)であった。男性1件の受理分類は、「相談」が1件(100.0%)であった。

表1-8 性別受理分類

性別受理分類		件数	%
女性	相談	940	97.3
	相談以外	26	2.7
小計(女性)		966	100.0
男性	相談	1	100.0
	相談以外	-	-
小計(男性)		1	100.0
不明	相談	-	-
	相談以外	25	100.0
小計(不明)		25	100.0
合計		992	-

表 1 - 9 性別受理詳細分類

性別詳細受理分類		件数	%	
女性	相談	電話相談	920	97.9
		面接相談	20	2.1
	小計(相談)		940	100.0
	相談以外	要望・苦情	1	3.8
		いたづら	-	-
		無言・その他	25	96.2
	小計(相談以外)		26	100.0
小計(女性)		966	-	
男性	相談	電話相談	1	100.0
		面接相談	-	-
	小計(相談)		1	100.0
	相談以外	要望・苦情	-	-
		いたづら	-	-
		無言・その他	-	-
小計(相談以外)		-	-	
小計(男性)		1	-	
不明	相談	電話相談	-	-
		面接相談	-	-
	小計(相談)		-	-
	相談以外	要望・苦情	-	-
		いたづら	-	-
		無言・その他	25	100.0
小計(相談以外)		25	100.0	
小計(不明)		25	-	
合計		992	-	

※ ここからは、受理件数 992 件のうち、相談件数 941 件について集計したものである。

(3) 相談者の属性

ア 相談者の性別

相談者の性別は、「女性」が 940 件 (99.9%)、「男性」が 1 件 (0.1%) であった。

表 1-10 相談者の性別

性別	件数	%
女性	940	99.9
男性	1	0.1
合計	941	100.0

イ 相談者の使用言語

相談者の使用言語は、「日本語」が 941 件 (100.0%) であった。

表 1-11 相談者の使用言語

言語	件数	%
日本語	941	100.0
母語が日本語以外	-	-
合計	941	100.0

ウ 相談者の婚姻状況

相談者の婚姻状況は、941 件のうち、「既婚（事実婚・別居中含む）」が 499 件（53.0%）と最も多く、次いで「未婚」が 163 件（17.3%）、「離別」が 118 件（12.5%）、「死別」が 94 件（10.0%）であった。

表 1-12 相談者の婚姻状況

	件数	%
未婚	163	17.3
既婚 (事実婚・別居中含む)	499	53.0
離別	118	12.5
死別	94	10.0
不明	67	7.1
合計	941	100.0

エ 相談者の年齢階級

相談者の年齢階級は、941 件のうち、「60代」が 265 件（28.2%）と最も多く、次いで「40代」が 190 件（20.2%）、「50代」が 174 件（18.5%）、「30代」が 128 件（13.6%）、「70代以上」が 71 件（7.5%）、「20代」が 29 件（3.1%）であった。

表 1-13 相談者の年齢階級

年代	件数	%
～10代	-	-
20代	29	3.1
30代	128	13.6
40代	190	20.2
50代	174	18.5
60代	265	28.2
70代～	71	7.5
不明	84	8.9
合計	941	100.0

オ 相談者の職業（雇用形態）

相談者の職業を雇用形態別にみると、941件のうち、「無職」が582件（61.8%）と最も多く、次いで「非正規」が155件（16.5%）、「正規」が52件（5.5%）、「自営・フリーランス」が21件（2.2%）であった。

表1-14 相談者の職業（雇用形態）

雇用形態	件数	%
正規	52	5.5
非正規	155	16.5
自営・フリーランス	21	2.2
学生	3	0.3
無職	582	61.8
その他	23	2.4
不明	105	11.2
合計	941	100.0

カ 相談経路

相談経路（相談窓口を知ったきっかけ）は、941件のうち、「再相談」が636件（67.6%）と最も多く、次いで「インターネット」が76件（8.1%）、「広報カード」70件（7.4%）、「政府広報、県政／市政だより」44件（4.7%）、「他機関からの紹介」19件（2.0%）などであった。

表1-15 相談経路

相談経路	件数	%
再相談	636	67.6
インターネット	76	8.1
広報カード	70	7.4
政府広報、県政／市政だより	44	4.7
他機関からの紹介	19	2.0
知人・友人	10	1.1
テレビ	4	0.4
新聞	1	0.1
メール	-	-
その他	22	2.3
不明	59	6.3
合計	941	100.0

キ 相談内容

相談内容は、941 件のうち、不安や抑うつ、PTSDなどの「心理的問題」が 422 件（44.8%）と最も多く、次いで親やきょうだい、子どもとの関係などの「家族問題」が 371 件（39.4%）、生きがいや孤独・孤立などの「生き方」が 365 件（38.8%）、不和不満や飲酒、金銭問題、別居、離婚などの「夫婦問題」が 269 件（28.6%）、住環境や経済問題、放射能などの「暮らし」が 198 件（21.0%）、友人や近隣、職場などの「対人関係」が 164 件（17.4%）であった。「DV」は 112 件（11.9%）、「DV以外の暴力」は 10 件（1.1%）であった。

表 1-16 相談内容（複数回）

相談内容(N=941)		件数	%
悩み	心理的問題	422	44.8
	家族問題	371	39.4
	生き方	365	38.8
	夫婦問題	269	28.6
	暮らし	198	21.0
	対人関係	164	17.4
	からだ	161	17.1
	仕事	68	7.2
暴力	DV	112	11.9
	DV以外の暴力	10	1.1
その他		11	1.2
不明		11	1.2

ク 主訴

相談の主訴は、941 件のうち、「家族問題」が 205 件（21.8%）と最も多く、次いで「心理的問題」が 159 件（16.9%）、「夫婦問題」が 137 件（14.6%）、「対人関係」が 107 件（11.4%）であった。「DV」は 60 件（6.4%）、「DV以外の暴力」は 7 件（0.7%）であった。

表 1-17 主訴

主訴		件数	%
悩み	家族問題	205	21.8
	心理的問題	159	16.9
	夫婦問題	137	14.6
	対人関係	107	11.4
	暮らし	92	9.8
	生き方	78	8.3
	からだ	46	4.9
	仕事	30	3.2
暴力	DV	60	6.4
	DV以外の暴力	7	0.7
その他	その他	9	1.0
	不明	11	1.2
合計		941	100.0

ケ 支援内容

相談に対する支援内容は、941 件のうち、「傾聴」が 882 件（93.7%）と最も多く、次いで「助言」が 517 件（54.9%）、「再相談へ」が 193 件（20.5%）、「心理ガイダンス」が 128 件（13.6%）であった。

表 1-18 支援内容（複数回）

支援内容(N=941)	件数	%
傾聴	882	93.7
助言	517	54.9
再相談へ	193	20.5
心理ガイダンス	128	13.6
一般的な情報提供	115	12.2
安全確認	27	2.9
他機関・団体や他事業に引継	12	1.3
その他	30	3.2

「一般的な情報提供」をした 115 件を情報提供先の機関別にみると、「男女共同参画センター、女性相談など」が 38 件（33.0%）と最も多く、次いで「法テラス、弁護士・弁護士会など」が 25 件（21.7%）、「警察（犯罪被害者ホットライン等含む）」が 11 件（9.6%）であった。

表 1-19 一般的な情報提供先（複数回答）

情報提供先(N=115)	件数	%
男女共同参画センター、女性相談など	38	33.0
法テラス、弁護士・弁護士会など	25	21.7
警察(犯罪被害者ホットライン等含む)	11	9.6
医療機関、福祉事務所、児童相談所・子ども家庭支援センターなど	10	8.7
配偶者暴力相談窓口	4	3.5
DV・性暴力被害者支援、カウンセリングルーム等トラウマ治療機関、グループワークなど	2	1.7
ハローワーク、就労支援	2	1.7
被災者支援機関・窓口	1	0.9
その他	48	41.7

「他機関・団体や他事業に引継」をした12件を引継先の機関別にみると、「男女共同参画センター、女性相談など」が1件（8.3%）であった。「その他」の11件（91.7%）はいずれも面接相談（いわき面接会場）に引き継いだものであった。

表1-20 他機関・団体や他事業への引継先（複数回）

引継先(N=12)	件数	%
男女共同参画センター、女性相談など	1	8.3
配偶者暴力相談窓口	-	-
法テラス、弁護士・弁護士会など	-	-
医療機関、福祉事務所、児童相談所・子ども家庭支援センターなど	-	-
DV・性暴力被害者支援、カウンセリングルーム等トラウマ治療機関、グループワークなど	-	-
被災者支援機関・窓口	-	-
警察(犯罪被害者ホットライン等含む)	-	-
ハローワーク、就労支援	-	-
その他	11	91.7

2 配偶者からの暴力・配偶者からの暴力以外の暴力に関する集計

(1) 配偶者からの暴力に関する相談

配偶者からの暴力に関する相談は 112 件であった。

その内訳は、「精神的攻撃（経済的・社会的含む）のみ」が 72 件（64.3%）と最も多く、次いで「身体的暴行と精神的攻撃」が 25 件（22.3%）、「身体的暴行のみ」が 8 件（7.1%）、「精神的攻撃と性的強要」が 5 件（4.5%）であった。

表 2-1 配偶者からの暴力の相談内容

相談内容	件数	%
精神的攻撃(経済的・社会的含む)のみ	72	64.3
身体的暴行と精神的攻撃	25	22.3
身体的暴行のみ	8	7.1
精神的攻撃と性的強要	5	4.5
身体的暴行・精神的攻撃・性的強要	1	0.9
性的強要のみ	-	-
身体的暴行と性的強要	-	-
不明	1	0.9
合計	112	100.0

(2) 配偶者からの暴力以外の暴力に関する相談

配偶者からの暴力以外の暴力に関する相談は 10 件である。

その内訳は、「交際相手からの暴力」が 5 件（50.0%）と最も多く、次いで「強姦・強制わいせつ」が 3 件（30.0%）、「売買春・ストーカーなど」が 1 件（10.0%）であった。

表 2-2 配偶者からの暴力以外の暴力に関する相談内容

相談内容	件数	%
交際相手からの暴力	5	50.0
強姦・強制わいせつ	3	30.0
売買春・ストーカーなど	1	10.0
不明	1	10.0
合計	10	100.0

3 震災の影響

(1) 相談者の被災時の住居所

相談者の被災時の住居所は、「不明」を除く 916 件のうち、「福島県」が 886 件 (96.7%) と最も多く、次いで「宮城県」が 12 件 (1.3%)、「その他」が 18 件 (2.0%) であった。

表 3-1 相談者の被災時の住居所

被災地(被災した場所)	件数	%
岩手県	-	-
宮城県	12	1.3
福島県	886	96.7
その他	18	2.0
小計	916	100.0
不明	25	
合計	941	

(2) 相談者の現在の居所

相談者の現在の居所は、941 件のうち、「福島県内」が 886 件 (94.2%)、「福島県外」が 50 件 (5.3%)、「不明」が 5 件 (0.5%) であった。

表 3-2 相談者の現在の居所

居所	件数	%
福島県内	886	94.2
福島県外	50	5.3
不明(※)	5	0.5
合計	941	100.0

※「不明」は国内のどの地域に居住しているか、どこから発信されているかわからないもの

県内 886 件のうち、「郡山市」が 298 件 (33.6%) と最も多く、次いで「いわき市」が 119 件 (13.4%)、「福島市」が 117 件 (13.2%)、「南相馬市」が 78 件 (8.8%)、「新地町」が 36 件 (4.1%) であった。

表 3-3 福島県の相談者の現在の居所（福島県

市町村	件数	%
福島市	117	13.2
二本松市	25	2.8
伊達市	7	0.8
本宮市	5	0.6
桑折町	2	0.2
国見町	-	-
川俣町	4	0.5
大玉村	-	-
郡山市	298	33.6
須賀川市	15	1.7
田村市	10	1.1
鏡石町	-	-
天栄村	-	-
石川町	4	0.5
玉川村	-	-
平田村	-	-
浅川町	-	-
古殿町	-	-
三春町	11	1.2
小野町	2	0.2

市町村	件数	%
白河市	-	-
西郷村	-	-
泉崎村	-	-
中島村	-	-
矢吹町	24	2.7
棚倉町	-	-
矢祭町	-	-
塙町	-	-
鮫川村	-	-
会津若松市	24	2.7
喜多方市	2	0.2
北塩原村	-	-
西会津町	1	0.1
磐梯町	-	-
猪苗代町	1	0.1
会津坂下町	3	0.3
湯川村	-	-
柳津町	-	-
三島町	-	-
金山町	-	-

市町村	件数	%
昭和村	-	-
会津美里町	-	-
下郷町	1	0.1
檜枝岐村	-	-
只見町	-	-
南会津町	3	0.3
相馬市	8	0.9
南相馬市	78	8.8
広野町	1	0.1
檜葉町	2	0.2
富岡町	-	-
川内村	-	-
大熊町	-	-
双葉町	-	-
浪江町	3	0.3
葛尾村	-	-
新地町	36	4.1
飯舘村	1	0.1
いわき市	119	13.4
無記入	79	8.9
県内計	886	100.0



福島県外 50 件のうち、「宮城県」が 22 件（44.0%）と最も多く、次いで「東京都」「東京都」が 8 件（16.0%）、「神奈川県」が 6 件（12.0%）、「埼玉県」が 5 件（10.0%）であった。

表 3-4 福島県の相談者の現在の居所（福島県外）

都道府県	件数	%
北海道	-	-
青森県	1	2.0
秋田県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	22	44.0
山形県	2	4.0
茨城県	1	2.0
栃木県	1	2.0
群馬県	-	-
埼玉県	5	10.0
千葉県	-	-
東京都	8	16.0
神奈川県	6	12.0
新潟県	1	2.0
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-

都道府県	件数	%
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	2	4.0
兵庫県	1	2.0
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-

都道府県	件数	%
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-
県外計	50	100.0

(3) 相談者の被災状況

相談者の被災状況は、941 件のうち、「地震・津波被害」が 896 件（95.2%）と最も多く、次いで「放射能被害」が 887 件（94.3%）、「借上住居・賃貸住宅」が 52 件（5.5%）、「県外避難」が 41 件（4.4%）、「家族離散」が 24 件（2.6%）であった。

表 3 - 5 相談者の被災状況（複数回）

被災状況(N=941)	件数	%
地震・津波被害	896	95.2
放射能被害	887	94.3
借上住居・賃貸住宅	52	5.5
県外避難	41	4.4
家族離散	24	2.6
自宅全壊・半壊	19	2.0
仮設住宅入居	12	1.3
親族宅避難	2	0.2
家族を失う・安否不明	-	-
その他	1	0.1
不明	36	3.8

(4) 被災状況と主訴との関係

相談者の被災状況と主訴との関係をみると、「地震・津波被害」の896件では、「家族問題」が204件(22.8%)と最も多く、次いで「心理的問題」が152件(17.0%)、「夫婦問題」が130件(14.5%)であった。

「放射能被害」の887件では、「家族問題」が202件(22.8%)と最も多く、次いで「心理的問題」が151件(17.0%)、「夫婦問題」が130件(14.7%)であった。

「借上住居・賃貸住宅」52件では、「心理的問題」が15件(28.8%)と最も多く、次いで「家族問題」が11件(21.2%)、「生き方」が8件(15.4%)であった。

「県外避難」41件では、「心理的問題」が11件(26.8%)と最も多く、次いで「生き方」が8件(19.5%)、「夫婦問題」「家族問題」が各7件(各17.1%)であった。

「家族離散」24件では、「心理的問題」が9件(37.5%)と最も多く、次いで「生き方」が6件(25.0%)、「からだ」「家族問題」が各3件(各12.5%)であった。

「自宅全壊・半壊」19件では、「心理的問題」「家族問題」が各5件(26.3%)と最も多く、次いで「夫婦問題」が4件(21.1%)、「対人関係」「暮らし」が各2件(各10.5%)であった。

「仮設住宅入居」12件では、「暮らし」が4件(33.3%)、「家族問題」が3件(25.0%)、「夫婦問題」が2件(16.7%)であった。

「親族宅避難」2件では、「生き方」「家族問題」が各1件(各50.0%)であった。

表3-6 被災状況と主訴との関係(複数回)

被災状況	主訴(N=941)	件数	%
地震・津波被害	家族問題	204	22.8
	心理的問題	152	17.0
	夫婦問題	130	14.5
	対人関係	103	11.5
	暮らし	88	9.8
	生き方	73	8.1
	からだ	46	5.1
	仕事	26	2.9
	DV	58	6.5

	暴力	DV以外の暴力	7	0.8
	その他	その他	5	0.6
		不明	4	0.4
	小計(地震・津波被害)		896	100.0
放射能被害	悩み	家族問題	202	22.8
		心理的問題	151	17.0
		夫婦問題	130	14.7
		対人関係	102	11.5
		暮らし	88	9.9
		生き方	72	8.1
		からだ	43	4.8
		仕事	26	2.9
	暴力	DV	58	6.5
		DV以外の暴力	7	0.8
	その他	その他	4	0.5
		不明	4	0.5
	小計(放射能被害)		887	100.0
	借上住居・賃貸住宅	悩み	心理的問題	15
家族問題			11	21.2
生き方			8	15.4
暮らし			7	13.5
対人関係			5	9.6
夫婦問題			3	5.8
からだ			1	1.9
仕事			-	-
暴力		DV	1	1.9
		DV以外の暴力	-	-
その他		その他	-	-
		不明	1	1.9
小計(借上住居・賃貸住宅)		52	100.0	
県外避難	悩み	心理的問題	11	26.8
		生き方	8	19.5
		夫婦問題	7	17.1
		家族問題	7	17.1

		対人関係	3	7.3
		暮らし	3	7.3
		からだ	-	-
		仕事	-	-
	暴力	DV	2	4.9%
		DV以外の暴力	-	-
	その他	その他	-	-
		不明	-	-
	小計(県外避難)		41	100.0
	家族離散	悩み	心理的問題	9
生き方			6	25.0
からだ			3	12.5
家族問題			3	12.5
夫婦問題			2	8.3
対人関係			1	4.2
仕事			-	-
暮らし			-	-
暴力		DV	-	-
		DV以外の暴力	-	-
その他		その他	-	-
		不明	-	-
小計(家族離散)		24	100.0	
自宅全壊・半壊		悩み	心理的問題	5
	家族問題		5	26.3
	夫婦問題		4	21.1
	対人関係		2	10.5
	暮らし		2	10.5
	生き方		1	5.3
	からだ		-	-
	仕事		-	-
	暴力	DV	-	-
		DV以外の暴力	-	-
	その他	その他	-	-
		不明	-	-

		小計(自宅全壊・半壊)	19	100.0
仮設住宅入居	悩み	暮らし	4	33.3
		家族問題	3	25.0
		夫婦問題	2	16.7
		生き方	1	8.3
		心理的問題	1	8.3
		対人関係	1	8.3
		からだ	-	-
		仕事	-	-
	暴力	DV	-	-
		DV以外の暴力	-	-
	その他	その他	-	-
		不明	-	-
			小計(仮設住宅入居)	12
親族宅避難	悩み	生き方	1	50.0
		家族問題	1	50.0
		心理的問題	-	-
		からだ	-	-
		仕事	-	-
		夫婦問題	-	-
		対人関係	-	-
		暮らし	-	-
	暴力	DV	-	-
		DV以外の暴力	-	-
	その他	その他	-	-
		不明	-	-
			小計(親族宅避難)	2
家族を失う・安否不明	悩み	生き方	-	-
		心理的問題	-	-
		からだ	-	-
		仕事	-	-
		夫婦問題	-	-
		家族問題	-	-
		対人関係	-	-
		暮らし	-	-

	暴力	DV	-	-
		DV以外の暴力	-	-
	その他	その他	-	-
		不明	-	-
	小計(家族を失う・安否不明)		-	-
その他	悩み	夫婦問題	1	100.0
		生き方	-	-
		心理的問題	-	-
		からだ	-	-
		仕事	-	-
		家族問題	-	-
		対人関係	-	-
		暮らし	-	-
	暴力	DV	-	-
		DV以外の暴力	-	-
	その他	その他	-	-
		不明	-	-
	小計(その他)		1	100.0
	不明	悩み	心理的問題	7
夫婦問題			6	16.7
仕事			4	11.1
対人関係			4	11.1
暮らし			4	11.1
家族問題			1	2.8
生き方			-	-
からだ			-	-
暴力		DV	2	5.6
		DV以外の暴力	-	-
その他		その他	1	2.8
		不明	7	19.4
小計(不明)		36	100.0	
合計			1,970	

(5) 主訴に対する震災の影響

主訴に対する震災の影響の有無等をみると、相談件数 941 件のうち、「あり」が 99 件 (10.5%)、「震災後に表面化・悪化」が 27 件 (2.9%)、「なし」が 548 件 (58.2%) であった。

表 3-7 主訴に対する震災の影響

主訴に対する震災の影響	件数	%
あり	99	10.5
震災後に表面化・悪化	27	2.9
なし	548	58.2
不明	267	28.4
合計	941	100.0

(6) 震災の影響と主訴との関係

「震災の影響があり」と回答した 99 件を主訴別にみると、「心理的問題」が 26 件 (26.3%) と最も多く、次いで「家族問題」が 22 件 (22.2%)、「生き方」が 17 件 (17.2%) であった。

「震災後に表面化・悪化した」と回答した 27 件では、「家族問題」が 8 件 (29.6%) と最も多く、次いで「心理的問題」が 5 件 (18.5%)、「夫婦問題」が 4 件 (14.8%) であった。

「震災の影響がなし」と回答した 548 件では、「家族問題」が 123 件 (22.4%) と最も多く、次いで「夫婦問題」が 80 件 (14.6%)、「対人関係」が 78 件 (14.2%) であった。

表 3-8 震災の影響と主訴

震災の影響	主訴		件数	%	
あり	悩み	心理的問題	26	26.3	
		家族問題	22	22.2	
		生き方	17	17.2	
		暮らし	11	11.1	
		夫婦問題	9	9.1	
		対人関係	8	8.1	
		からだ	2	2.0	
		仕事	-	-	
	暴力	DV	3	3.0	
		DV以外の暴力	-	-	
	その他	その他	1	1.0	
		不明	-	-	
	小計(あり)			99	100.0
	震災後に表面化・悪化	悩み	家族問題	8	29.6
心理的問題			5	18.5	
夫婦問題			4	14.8	
暮らし			3	11.1	
生き方			2	7.4	
からだ			1	3.7	
対人関係			1	3.7	
仕事			-	-	
暴力		DV	3	11.1	
		DV以外の暴力	-	-	
その他		その他	-	-	
		不明	-	-	
小計(表面化・悪化)			27	100.0	
なし		悩み	家族	123	22.4
	夫婦問題		80	14.6	
	対人関係		78	14.2	
	心理的問題		76	13.9	
	暮らし		53	9.7	
	生き方		42	7.7	

		からだ	32	5.8	
		仕事	21	3.8	
	暴力	DV	30	5.5	
		DV以外の暴力	5	0.9	
	その他	その他	6	1.1	
		不明	2	0.4	
	小計(なし)		548	100.0	
	不明	悩み	心理的問題	52	19.5
家族問題			52	19.5	
夫婦問題			44	16.5	
暮らし			25	9.4	
対人関係			20	7.5	
生き方			17	6.4	
からだ			11	4.1	
仕事			9	3.4	
暴力		DV	24	9.0	
		DV以外の暴力	2	0.7	
その他		その他	2	0.7	
		不明	9	3.4	
小計(不明)		267	100.0		
合計			941		